データベース基礎(準備編)

MariaDBを使ってみよう

MariaDBとは

MariaDB(マリアディービー)とはMySQLから派生したオープンソースの関係データベース管理システム (RDBMS)です。

MySQLと互換性があり、Googleにも採用されています。

また、多くのストレージエンジンを採用していることやスレッドプールが標準で利用できることも魅力の1つです。

公式サイトからダウンロード

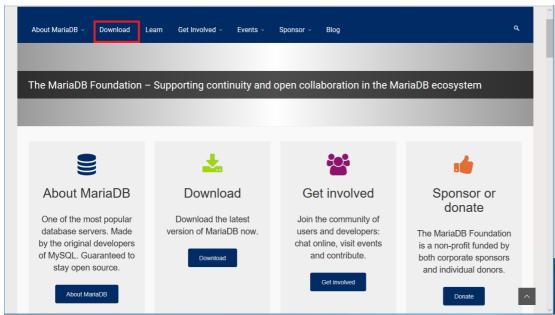
公式サイト(https://mariadb.org/)からダウンロードできます。

任意のブラウザを起動し、上記URLを入力してください。

今回はMicrosoft Edgeを使用しています。

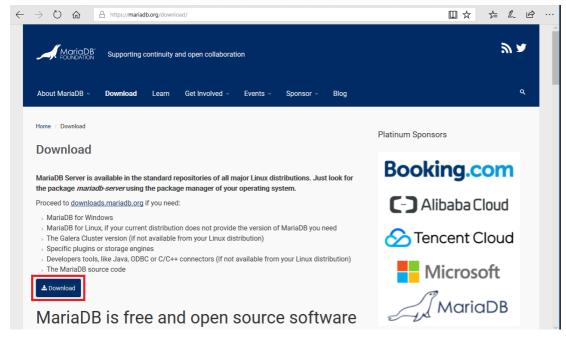
下記のページが表示されます。

ページ上段のメニューに表示されている「Download」をクリックしてください。



下記のページが表示されます。

ページ中央「Download」をクリックしてください。



下記のページが表示されます。

ページ中央「Download 10.3.7 Stable Now!」をクリックしてください。



下記のページが表示されます。

このページでは「OS/CPU」からインストールしたいOSのMariaDBを選び、「File Name」をクリックして実行ファイルをダウンロードします。 今回は「Windows x64」、msiのインストーラをダウンロードします。



下記のページが表示されます。

ブラウザによってはファイルに対する操作を要求されるので「保存」を選択してください



ダウンロードしたファイルを実行し、インストール作業を行ってください。

インストール

接続方法

データベースの用語を整理する

データベース

テーブル

レコード

カラム

データベースを操作する

データベースの作成

データベースの一覧

データベースの削除

データベースの切り替え

作業を行うユーザを設定する

create user

grant

テーブルを操作する

テーブル作成

テーブル一覧

構造の確認

様々なデータ型

このセクションでは、テーブルに登録できる型を紹介します。

数値

INTEGER

NUMERIC

文字列

CHAR

VARCHAR

CHARとVARCHARの使い分け

日本語(マルチバイト文字)の取り扱い

日時

真偽値